

研究名： カルバペネム耐性緑膿菌の薬剤耐性機構の研究

1. 研究の目的

カルバペネム耐性緑膿菌は、抗生物質が効きにくい細菌で、ときに重篤な疾患を起こします。もともと抗菌薬が有効だった緑膿菌が、薬が効かなくなる（耐性化する）理由は様々です。当院で検出されたカルバペネム耐性緑膿菌がどのような仕組みで耐性化しているかを明らかにし、有効な治療薬を選択したり、効果的な院内感染対策ができるように、役立てます。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2010年4月～2024年3月までに、培養検査を実施し、カルバペネム耐性緑膿菌が検出された患者様
- ② 研究期間：2025年8月まで
- ③ 研究方法：当院の検査課の培養のデータから、カルバペネム耐性緑膿菌が検出された患者様のうち、菌株保存がされている方が対象です。凍結保存してある菌を増やして、菌の特性（特に薬剤耐性機構）をPCR検査など分子生物学的な手法を用いて解析します。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

- ・情報：病歴、検査データ 等
- ・資料：培養で検出された菌株 等

4. 資料・情報の公表

本研究が終了後に、学会発表および科学論文上に発表する予定です。

5. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター アレルギー感染免疫科 清水彰彦

住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地

電話：0279-52-3551

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター アレルギー感染免疫科 清水彰彦